

別冊1

JA信州うえだ 第10次中期3カ年計画(案)

【令和4年度～令和6年度】

 JA信州うえだ

JA長野県長期ビジョン ビジョンサブテーマ

食と農で地域に笑顔をつくります ～次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立～

JA長野県グループは、平成30年度に開催した第71回JA長野県大会において、JA長野県ビジョン「食と農で地域に笑顔をつくります」、ビジョンサブテーマ「新時代へ向けた改革の実行」を掲げ、その実現のために、「2019～2021 3カ年計画重点事項」を策定し取り組んでまいりました。

この間、農業・JAを取り巻く環境は、農業の国際化、高齢化の進展と人口減少社会の到来、あいつぐ自然災害による農畜産物・農業施設等への被害、新型コロナウイルスの影響による業務用・イベントなどの農畜産物需要の減少など、農業・組織・経営基盤すべての面で環境が悪化している状況です。

JA信州うえだでも、改めて協同組織としての原点に立ち返り、事業・活動の抜本的な検討が必要な状況にあったため、経営改革に向けた取組事項を決定し、実践に向けて取り組んでまいりました。

さて、このような厳しい環境変化の渦中であり、組合員・役職員・地域の閉塞感が強まっておりますが、人々の命の源である「食」と、その「食」をつくる「農業」を起点として、10年後も組合員・役職員・地域住民みんなに笑顔が生まれている状態をつくりたいと考えます。この考え方は、3年前のビジョン設定時から大きな方向転換がないことから、JA長野県グループでは、現行の長期ビジョンを継続することにしました。また、新型コロナウイルスによる社会と経済の歴史的な大転換を乗り越え、次の10年に向けた新たな一歩を踏み出すという決意を込め、ビジョンサブテーマとして「～次代につなげる農業・組織・経営基盤の確立～」が設定されました。

長期ビジョン実現に向けては、新たな柱となる「農業所得増大へのさらなる挑戦」「不断の自己改革による組織・経営基盤の確立」をテーマに取り組み具体策を策定しました。取り組みの実践により、食と農を基軸に、地域に根差した協同組合としての役割を存分に発揮し、次代へつなぐ持続可能な農業の実現と豊かでくらしやすい地域社会の実現に向け、組合員の負託に応えるJAづくりを行ってまいります。

また、「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けるため、改めて協同組合の原点に立ち、組合員の皆様との話し合いを深めながら、全力で第10次中期3カ年計画に取り組み、自己改革をすすめてまいります。

第10次中期3カ年計画

【2つのテーマ】10年後(2030年)の目指す姿とテーマ

中長期的に劇的な環境変化が見込まれるなか、総合事業全体で営農指導を含む営農関連事業費を確保している経営構造を維持していくことが、今後は困難な状況が想定されます。そこで、「10年後(2030年)の目指す姿」を描き、そこから「次期3カ年で取り組む事項」を考える思考により、重点に取り組む事項を検討してまいりました。

3カ年計画のテーマ	10年後のめざす姿
①農業所得増大へのさらなる挑戦	①持続可能な長野県農業の実現
②不断の自己改革による組織・経営基盤の確立	②食と農を基軸とした協同組合の役割発揮

テーマ1

農業所得増大へのさらなる挑戦

3カ年計画KPI

現 状…生産面積：米 2,045ha・大豆/麦/そば 746ha、野菜 435.3ha、果実 313ha、花き 22ha、きのこ 1,552t、畜産 1,144 頭、乳量 2,320t

3年後…生産面積：米 1,986ha・大豆/麦/そば 838ha、野菜 478.0ha、果実 317ha、花き 22ha、きのこ 1,702t、畜産 1,144 頭、乳量 2,320t

主要施策1 産地の創造に向けた取り組みとJAへの結集、生産基盤の強化

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1. 地域農業の総点検と生産基盤の強化に向けた地域農業振興ビジョンの実践					
(1) 重点品目振興ビジョンの進捗確認及び諸課題に対する取り組み (PDCA)	営農指導部	KPIの達成 (進捗確認 年3回)	実施	実施	実施
(2) 地域農業振興ビジョンの進捗確認及び諸課題に対する取り組み (PDCA)	地区事業部 営農課	KPIの達成 (進捗確認 年1回 11月に実施)	実施	実施	実施
2. 持続可能な農業の実践					
(1) 新規就農相談会の実施 (県内外に出向き開催)	営農企画課	KPIの達成 (相談会 年4回以上)	実施	実施	実施
(2) 認定農業者等の確保 (人・農地プラン実質化会議:行政と合同)	地区事業部 営農課	KPIの達成 (会議 年1回以上)	実施	実施	実施
(3) 集団的農地の確保及び施設化 (ブドウ棚・パイプハウス)	営農指導部	累計 6ha	累計 2ha	累計 4ha	累計 6ha
(4) SDGs に対する J A の役割の研究	営農企画課	年 2 回 (少人数による分科会)	2 回	2 回	2 回
(5) みどりの食料システム戦略「カーボンニュートラル等の環境負荷軽減」、「スマート農業」の検討			2 回	2 回	2 回
(6) 有機農法の実現に向けた検討 (有機農業の面積拡大)			2 回	2 回	2 回

主要施策 2 農業者の声を反映した階層別指導体制の構築と連携

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1. 市場出荷農家（一部の直売所出荷者）に対する営農指導強化					
(1) 農家と営農技術員1対1の栽培相談及び総合的な相談の機能強化	営農指導部	指導未実施件数0件	0件	0件	0件
(2) 栽培・病害虫・気象状況・生産資材等の情報メール（有線放送）配信		月最低1回	12回	12回	12回
(3) 生産基盤強化補助制度の創造によるJA集荷率向上	営農企画課	市場出荷誘導奨励の実施	検討 一部実施	実施	実施
2. 直売所出荷者、自給的農家、家庭菜園に対する営農相談員の体制拡充 ～営農相談員による「食と農」の情報発信強化～					
(1) グリーンファームカレッジによる園芸栽培情報の発信	普及推進部	年間15回	15回	15回	15回
(2) JAホームページからの動画配信（組合員限定）		検討・実施	検討	検討	実施
(3) YouTubeを活用した情報配信		検討・実施	検討	検討	実施
(4) 重点品目の市場出荷への誘導		年間5名	5名	5名	5名
3. 総合事業の強みを活かした金融仲介機能の発揮					
(1) 担い手サポート機能の強化による担い手の経営課題への迅速な対応 ・農業融資実施体制の構築・強化 ・農業者所得の向上に向けた「担い手コンサルティング」の実践	営農指導部	農業融資専任担当者の設置	設置	設置	設置
		コンサルティングプログラム導入	導入・実践	導入・実践	導入・実践
(2) 農業の経営安定支援の専門性発揮 ・営農技術員等と農業融資担当者同行による農家への訪問活動、融資相談		農業融資実行額 年間 232 百万円	230 百万円	232 百万円	232 百万円
4. 農業者・農業法人への包括的な保障・サービスの提供強化					
(1) 農業リスク診断活動を通じた農業者・担い手経営体への万全な保障提供の促進 ・農業者の視点に立ち、未保障物件や未保障車両等のリスク確認の実施	普及推進部	農業リスク診断活動 年間 300 件	200 件	250 件	300 件

主要施策3 信州うえだ農畜産物の発信力強化による有利販売・ブランド化の創造

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度																				
1. 持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大																									
(1) 重点品目の栽培面積拡大 R3年度実績（重点品目累計）（規模：ha・t・頭） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>規模</th> <th>品目</th> <th>規模</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米穀</td> <td>2,791ha</td> <td>花き</td> <td>11.9ha</td> </tr> <tr> <td>野菜</td> <td>344ha</td> <td>きのこ</td> <td>1,552t</td> </tr> <tr> <td>果実</td> <td>290ha</td> <td>畜産</td> <td>1,144頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>乳量</td> <td>2,320t</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「重点品目の栽培面積拡大」に関する記載内容ですので、3ページの3カ年計画KPIの面積とは、一致しない品目（野菜・果実・花き）があります。</p>	品目	規模	品目	規模	米穀	2,791ha	花き	11.9ha	野菜	344ha	きのこ	1,552t	果実	290ha	畜産	1,144頭			乳量	2,320t	営農指導部	R6目標値 米穀：2,824ha 野菜：391ha 果実：294ha 花き：11.7ha※ きのこ：1,702t 畜産：1,144頭 乳量：2,320t	2,825ha 358ha 290ha 10.9ha※ 1,702t 1,144頭 2,320t	2,824ha 375ha 291ha 11.3ha※ 1,702t 1,144頭 2,320t	2,824ha 391ha 294ha 11.7ha※ 1,702t 1,144頭 2,320t
品目	規模	品目	規模																						
米穀	2,791ha	花き	11.9ha																						
野菜	344ha	きのこ	1,552t																						
果実	290ha	畜産	1,144頭																						
		乳量	2,320t																						
※花卉の目標面積の減少は他品目への転換によるものです。																									
2. 信州うえだブランドと地域ブランドによる農家組合員の手取り向上																									
(1) 友好姉妹都市・友好JA（限定した商圏内）等への生産者の顔の見える農畜産物の販売及び提案 ・地域固有の各種品目の発信及び地域ブランドとしての定着による管内市町村への来訪者増加への取り組み（農商工観連携）	地区事業部営農課	年1回以上の発信	1回	1回	1回																				
・売場確保・ファンづくりによる信州うえだオンリーワンブランドの確立と有利販売の拡大	市場販売課	改革進捗の分析・検討及び成長化提案	分析・検討	分析・検討	提案																				
(2) 管内農畜産物の理解促進の醸成に向けた、地域内外の販売機会（量販店・飲食店・あっせん販売・学校給食）の創出	直販課	改革進捗の分析・検討及び成長化提案	分析・検討	分析・検討	提案																				

テーマ2

不断の自己改革による組織・経営基盤の確立

3カ年計画KPI

(組織)	(経営)	
・管内人口の15.7%が組合員になっている。 (令和2年度末28,303人→28,801人)	・総資産利益率 〇〇%以上 ・事業管理費比率 〇〇%以下 ・労働分配率 〇〇%以下	・労働生産性〇〇千円以上 ・リスク管理債権比率〇〇%以下 (引当金差し引き後〇〇%以下)

主要施策1 多様化している組合員のメンバーシップの強化

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1. 組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立					
(1) 対話活動の強化、幅広い意見集約に向けた会議体等の機能見直し・活性化 ・メンバー、会議資料、対話活動の方法などの見直し ・協同組合の理解促進や経営内容の開示など、組合員との情報共有の強化	総務企画部	機能見直し	検討・実施	検討・実施	検討・実施
(2) 農家組合（農事組合、実行組合）との連携による地域諸課題の解決への取り組み	総務企画部	検討会の開催 年2回以上	検討会 開催	検討会 開催	検討会 開催
(3) 女性組合員加入促進、女性総代、女性理事の登用など、女性参画比率のアップ (令和3年度末 女性組合員〇%、女性総代24.29%、女性理事21.87%)	総務企画部	女性組合員25%以上	23%	24%	25%
(4) 組合員・利用者のセグメント（グループ分け）と類型別の提案型サービスの充実	総務企画部	セグメント・提案実施	セグメント	提案実施	提案実施
2. 「農業振興の応援団」の拡大					
(1) 組合員加入促進に向けた方策として新たな組合員拡大方針の策定	全部署	組合員純増370人 新規加入(3,460人)	純増120人 (1,150人)	純増120人 (1,150人)	純増130人 (1,160人)
・JA信州うえだカード、人間ドック割引などの発信強化	総務企画部	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
・各種部会・組織活動参加者や子供を対象とした子育て世代へのアプローチを展開し、活動参加者へ向けたニーズに合う事業利用促進	普及推進部	新規組合員加入 150人	100人	120人	150人
(2) 協同活動の活性化に向けた組合員の「拠り所」の構築 ・JA36支所・店の「地域活性化の発信基地」をめざした組合員協同活動、学習・研修、地区・区域別の活動等への取り組み	総務企画部	集約店(25店) の利活用	累計15店	累計20店	累計25店

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(3) 年齢層、組合員資格、農業への関わりなど、ターゲットを定めた広報活動の展開 ・ JAN!JAN!掲載記事見直しへの取り組み ・ SNS (Facebook、YouTube など) を活用した情報発信の充実	総務企画部	方針策定・実施 更新回数 50 回/年 登録者 1,000 人	策定・実施 50 回 累計 500 人	見直し・実施 50 回 累計 700 人	見直し・実施 50 回 累計 1,000 人
(4) 「食」を基軸とした地域農業の応援につながる活動の展開と次世代への食農教育の実施	農とくらしの相談課	実施	実施	実施	実施
3. 「不断の自己改革」の実践					
(1) 自己改革工程表及び経営基盤確立強化計画の作成と自己改革実践サイクル（進捗管理、実践方策の見直し・追加）への取り組み	総務企画部	工程表作成と 年度総括	工程表 作成	年度総括	年度総括
(2) 「不断の自己改革」の取組成果の「見える化」への取り組み	総務企画部	各種媒体による報告	実施	実施	実施

主要施策2 新たな事業方式による事業成長と事業運営の効率化

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1. 営農事業に関する取り組み					
(1) 集荷・共選施設の最適化及び有効活用の強化					
・各施設の利用状況の分析・検討と収支改善に向けた取り組み	営農企画課	改革進捗の分析・検討 及び成長化提案	分析・検討	分析・検討	提案
(2) 効率化に向けた取り組みによる収支改善及び高度化					
米穀 ・共同利用施設（ライスC、カントリーE）の稼働率向上及び新規施設の検討 ・水稲育苗施設の統合による効率化及び収支改善	営農企画課	改革進捗の分析・検討 及び成長化提案	分析・検討	分析・検討	提案
生産 資材 ・グリーンファーム全店（R4.9月以降）の事業利益黒字化及び生み出された資源の活用による農業資材価格への反映 ・生産資材 Web 受注システムの会員登録・売上高増加	生産資材課	価格反映 1,500 件(累計) 30,000 千円	一部実施 500 件 15,000 千円	実施 1,000 件 24,000 千円	実施 1,500 件 30,000 千円
農業 機械 ・整備料金の適正受領、作業時間に応じた料金体系の構築 ・緊急修理時対応で活用いただく代車フル活用による円滑な農作業の実現	農業機械課	検討・実施 実施	検討 実施	実施 実施	実施 実施
加工 利用 ・産業政策・地域政策の明確化による業務配分の整理による収支改善	営農企画課	改革進捗の分析・検討 及び成長化提案	分析・検討	分析・検討	提案

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2. 信用事業に関する取り組み					
(1) 組合員・利用者の豊かな暮らしの実現に向けたライフプランサポートの実践 ・コンサルティング機能（提案力・相談力）の拡充 ・出向く総合窓口体制と高度なサービスを提供できる人材育成	普及推進部	住宅ローン拡大	シェア 17%	シェア 18%	シェア 20%
		投資信託残高	10 億円	20 億円	30 億円
(2) デジタル化による非対面チャネル等の徹底活用・利用拡大	普及推進部	ネットバンク拡大	1,000 件	1,000 件	1,000 件
		リモート相談整備	導入・運営	運営	運営
(3) 移動金融車の有効運営	金融推進課	導入・運営	導入	有効運営	有効運営
(4) 資金運用強化による収益構造転換への取り組み	資金運用課	有価証券運用強化	30 億	30 億	35 億
3. 共済事業に関する取り組み					
(1) 全契約者・組合員に寄り添ったフォロー活動を通じた「保有高の堅持」と「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障の取り組み ・全契約者へのフォロー活動の実践を通じた新規契約の獲得 ・保有減少幅の縮小に向けた解約未然防止への意識醸成及びアプローチ強化 ・大規模災害時の迅速な対応に向けた損害調査体制の強化	共済普及課 保全課	長期新規ポイント 807万ポイント	750万 Pt	777万 Pt	807万 Pt
		解約・失効率 生命 2.06%:建更 1.80%	生命:建更 2.20%:1.88%	生命:建更 2.12%:1.84%	生命:建更 2.06%:1.80%
		研修会の実施	実施	実施	実施
(2) デジタル技術を活用した業務の効率化・利便性向上と新たな接点確保に向けた取り組み	共済普及課 保全課	Web マイページ 登録者数 23,900 人	6,000 人	15,000 人	23,900 人
(3) 自動車損害調査における契約者・利用者対応力強化による総合満足度向上への取り組み ・契約者の不安解消・安心感の提供と各種契約者サービス利用促進	保全課	総合満足度 97%	95%	96%	97%
4. 生活事業に関する取り組み					
(1) ホームエネルギー事業「JAでんき」の利用促進	生活サポート部	累計 1,000 戸	累計 300 戸	累計 600 戸	累計 1,000 戸
(2) 生活購買事業拠点の効率化と収支改善		1拠点	4拠点	1拠点	1拠点
5. 福祉事業に関する取り組み					
(1) JA長野厚生連との協議による介護保険事業移管の検討、実施	福祉課	介護保険事業所の移管	検討・実施	検討・実施	
(2) 令和3年度介護報酬改定への対応 ・感染症・災害への対応強化とサービスを安定的・継続的に提供できる体制づくり		委員会の設置・開催 研修・訓練の実施	検討・実施	実施	実施

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
6. 子会社事業に関する取り組み					
(1) 組合員に安心して利用いただける葬祭事業の運営	ジェイエイサービス	「虹の会」利用率 80%	80%	80%	80%
(2) 地域の実情に合った新事業の展開		拠点の利活用等	検討	実施	実施
(3) 収支改善に向けた事業改革の取り組み ・実施事業の見直しと管理費の削減	信州うえだファーム	事業収支均衡	検討・実施	検討・実施	収支均衡
(4) 電動車 (HV・PHV・EV・FCV) の商品知識及び整備スキルの向上による取扱体制の確立	オートパル信州うえだ	販売・整備講習会の開催	3回	3回	3回
(5) OBD (車載式故障診断装置) 車検実施整備工場の差別化による車検台数の確保		3,100 台	3,000 台	3,050 台	3,100 台
(6) 認証工場の体制の見直しによる指定工場の充実と収支改善		2指定・2認証	検討	検討	検討
7. 共通の取り組み					
(1) 各種情報技術の活用したサービス提供による利便性の向上	全事業	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
(2) 出向く JA 総合事業の窓口の実現	くらしづくり本部	担当エリアの明確化 営業体制の確立	検討・実施	実施	実施
(3) JA 拠点の多機能化による地域・SDGs への貢献 ・防災拠点化、環境負荷軽減 (Co2 削減)	総務企画部	年間 Co2 削減量 91t	累計 91t	累計 182t	累計 273t

主要施策3 事業戦略を支える経営管理の変革

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1. 持続可能な収益性・健全性の確保に向けた経営管理の高度化					
(1) 新たな事業戦略 (効率化戦略・成長化戦略) を策定・実践するための「人づくりの仕組み」の構築 ・求められる職員の能力を明確化し、その能力を開発するための「能力開発型人事制度」の導入 ・組合員・利用者ニーズに基づいた質の高いサービス提供に向けた専門知識の習得及び資格取得の強化、10年後の事業展開を見据えた資格取得の励行	総務企画部	能力開発型人事制度の導入 資格取得等の計画策定・実施	検討 策定・実施	検討 実施	実施 実施
(2) 連合会の中期計画と連携した取り組みや地域・他 JA・地域共生社会の構成員との連携、人事交流及び一体的事業運営体制の構築による経営管理の効率化	総務企画部	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施

重点項目・取組事項	担当部署	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度
(3) 7地区事業部体制の検証と県域・他JAとの連携による効率的な組織運営を目指した取り組み	総務企画部	改革案の策定	検討	検討	改革案策定
(4) 中長期収支シミュレーションの作成と経営戦略・計画の妥当性の検証と見直し	総務企画部	作成・進捗管理	進捗管理 見直し	進捗管理 見直し	進捗管理 見直し
(5) 職員のモチベーションを高める職場環境づくりとして、「目標による管理」の導入による職場目標・職員個々の目標の明確化と進捗管理	総務企画部	「目標による管理」 導入	検討	実施	実施
(6) 大規模自然災害、新型コロナウイルス蔓延等に対する緊急時対応の徹底と事業継続対策	リスク統括課	継続的な検討・改善	検討・改善	検討・改善	検討・改善
2. JA及びJA子会社のグループガバナンスの強化					
(1) 子会社管理規程に基づく経営管理の強化	総務企画部	検討・実施	検討・実施	検討・実施	検討・実施
(2) 子会社の内部管理態勢の強化 ・事業収益確保と内部統制の適正な運営	ジェイエサービス 信州うえだファーム	事業利益確保に向けた 取り組みの実施	検討・実施	実施	実施
(3) JAグループとしての事業・経営資源の最適化 ・JAグループ全体での事業の効率化と最適な事業運営に対する協力体制の構築	オートパル信州うえだ	体制の構築	検討・構築	検討・構築	検討・構築

<中期計画で使用されている語句の説明>

語句	説明
KPI	組織の目標を達成するための重要な業績評価の指標を意味し、達成状況を定点観測することで、目標達成に向けた組織のパフォーマンスの動向を把握できるようになります。仮に、目標値からギャップが生まれた場合には、組織行動が当初想定の方角にむかっていないことを意味し、活動の修正が必要となります。
PDCA (サイクル)	Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の頭文字をとったもので、この仮説・検証型プロセスを循環させ、経営管理の品質を高めようという概念です。このPDCAサイクルを強化し、1人ひとりがKPIにかかわる目標・課題を達成することで、結果として中期計画や組織の目標が達成できる仕組みになります。
SDGs	持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、日本としても積極的に取り組まれています。
カーボンニュートラル	2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質ゼロにすることを意味しています。
アクティブ・メンバーシップ	組合員が、積極的に組合の事業を利用し、活動に参加することです。JAにおいては、組合員が地域農業や協同組合の理念を理解し、「わがJA」意識を持ち、積極的に事業利用・活動参加・意思反映・運営参画に取り組むことを意味しています。

JA信州うえだ自己改革工程表

JA信州うえだは、平成6年の合併以降、組合員との徹底した対話に基づく様々な自己改革の実践に取り組み、事業の効率化を図ることで、農業振興や地域活性化に向けた資源を再投下できる財務の健全化をすすめてまいりました。また、令和3年9月30日の臨時総代会では、「経営改革の実践について」の議案を組合員の皆様のご理解・ご協力により決定いただき、令和4年度から、更なる改革に取り組んでまいります。

改革を含むJA事業への評価・意見は、中期3カ年計画の策定に併せ「組合員アンケート」を実施し、確認してまいりました。令和3年度にもアンケートを実施し、結果、多くの正組合員から、一定の評価と自己改革への一層の期待、多くの准組合員から、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただくことができました。

今後とも、JA信州うえだは、地域になくはならないJAであり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

自己改革を実施するための具体的な方針【下線項目はKPI設定】

- 1 訪問活動や区域（総合）運営委員会、組合員懇談会等を通じた「担い手との対話」を原点として、二一ズを的確に把握します。
- 2 「農業者の売上増加・コスト低減」につながる担い手目線で必要な取り組みについて、目標及び実践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「地域の活性化」にも取り組みます。
 - ・ 担い手経営体や中核的担い手などを対象として、次のことに取り組みます。
 - ア. 農家と営農技術員1対1の総合的な相談の機能強化、イ. 重点品目の栽培面積拡大
 - ア. 営農相談員による「食と農」の情報発信強化、イ. 生産資材Web受注システムによる資材の供給拡大
 - ・ 「地域の活性化」に向けては、次のことに取り組みます。
 - ア. 「地域活性化の発信基地」をめざした集約店の利活用、イ. 次世代層への食農教育活動
- 3 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、改革の評価の把握に向けた正組合員との対話のみならず、地域に根ざしたJAを目指し、区域運営委員会への准組合員の参画や訪問日を通じた意見集約、定期的なアンケートの実施など「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となったJA運営を実現します。組合員の評価を踏まえながら必要な見直しを行います。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」につながるよう取り組みます。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて

農業・農村やJAを取り巻く環境は、「少子高齢化による人口減少や農家戸数の減少による生産量の減少と農業生産基盤の縮小」、「フイナス金利政策の長期化による厳しい経営環境の継続」、「新型コロナウイルス感染症拡大やデジタル化など生活様式の変化への対応」など、今後の見通しは極めて厳しい状況です。

こうした情勢のなか、JA信州うえだとして現状のまま事業改革を進めなかった場合の5年後の成行きについてシミュレーションを行ったところ、事業利益が赤字に転じる見通しとなりました。赤字の主な要因は、フイナス金利の長期化により信用・共済事業に関わる奨励金が減少するなか、営農経済事業の赤字額が信用共済事業の黒字額を上回ることにあります。

令和3年9月30日の臨時総代会において、組合員の皆様のご理解・ご協力により決定いただいた「経営改革」を着実に実践し、不断の自己改革により全事業での収支改善を図ることが、緊急の課題となります。

JA信州うえだ自己改革工程表（数値編）

重点目標

成果指標・目標値

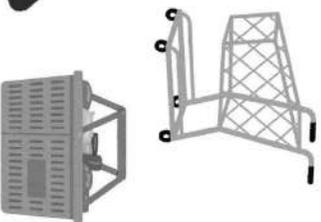
農業者の所得増大・農業生産の拡大			
重点品目の栽培面積拡大	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象者：担い手経営体や中核的担い手など 想定：売上増加効果	目標	目標	目標
令和6年度 (重点品目に限る)			
野菜 391ha	358ha	375ha	391ha
アスパラガス ブロッコリー	1haあたり 12,000千円 1haあたり 4,500千円	1haあたり 10,000千円 1haあたり 16,900千円	りんご(高密度栽培) 1haあたり 10,000千円 ぶどう(シャインマスカット・ナガハール) 1haあたり 16,900千円
果実 294ha	290ha	291ha	294ha

生産資材 Web 受注システムによる資材の供給拡大			
対象者：必要とする全ての皆様	想定：コスト削減効果		
令和6年度 購買品供給高 30,000千円	15,000千円	24,000千円	30,000千円
生産資材 Web 受注システム (ポチッと Farm) から注文の場合、いつでも予約価格で供給(ただし、予約価格が設定されている商品に限定) 例：令和4年3月現在の価格 【肥料】BB いね元気 20kg 通常 2,845 円 → 2,705 円 【農薬】バッチリ L X ジャンボ 400g 通常 3,590 円 ⇒ 3,440 円	目標	目標	目標

経営基盤の確立・強化			
金融拠点の集約と新たな拠点機能の創造(令和4年3月実施)			
令和6年度	集約した店舗に新たな拠点機能を創造(累計 25 店)	累計 15 店	累計 20 店
令和6年度	生産資材取り扱い拠点の集約による収支改善(令和4年9月実施)	目標	目標
令和6年度	4エリアで拠点を集約	4エリア	4エリア

対話・意思反映			
項目	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画
訪問による組合員との対話(回数)	12回	12回	12回
総合運営委員会(回数、委員数)	3回	2回、125人	3回
区域運営委員会(回数、委員数(うち、准組合員数))	2回	3回、645人(准組 58人)	2回
組合員懇談会(回数、出席人数)	2回	1回目 498人 2回目 開催中	1回
組合員アンケート(人数)	正組合員:900人 准組合員:600人	正組合員:833人 准組合員:460人	令和6年実施

生産資材がインターネットで 注文できるようになりました！



注文手書き不要！



購買取引登録をされている方は、予約注文がウェブから簡単に行えます。紙での注文書の提出は不要で、ウェブ上に購買履歴も残せます。

24時間注文受付可！



予約商品、通常購入商品ともに、インターネットがつながる場所であればパソコン・スマホ・タブレット端末で24時間いつでも注文ができます。

クレジット使用可！



お支払方法は、口座振替だけではなくクレジット選択できます。（口座振替は購買取引登録をされている方のみ選択できます）

他にもメリットがある

- ・操作が苦手な方には注文入力を代行します！
- ・店頭価格よりもお得な価格の商品あり！
- ・配達も承っております！（農業以外）

生産資材のインターネット注文導入について

近年の加速する情報発信ツールは、大規模災害や自然環境の変化、さらに感染症の発生及び拡大に伴うITインフラの抑制等において、現代社会では必要不可欠なアイテムに位置付けられています。この度の経営改革における成長戦略のひとつとして、「生産資材受注システム」の運用を開始することとしました。

このシステムは、グリーンファーム店舗に足を運ばなくても資材情報の閲覧や価格の動向など情報を得ることができ、加えて商品の購入が可能となります。専業農家の皆さんや、家庭菜園を楽しむ方、交通手段のない方など、多くの組合員の皆さんにご利用いただき地域農業の活性化に取り組んでまいります。

ご利用は
こちらから



<https://shinshuueda-shizain-d-agent.jp/unaunauthorized>





真田のぼるくん®